



「いのちに感謝」

みやざきブランド推進本部  
[宮崎県・JA宮崎経済連]

最近あなたは、  
「いただきます」を  
いいましたか？

ご飯を残すと  
「バチがあたる」…

小さい頃、ご飯を残すと「バチがあたるよ」とか「米粒には神様がいる」と教えられました。これは経済的にもつたないからと教えられた言葉ではありません。食べ物を大切に、命に感謝しなさいとの躰（しつけ）でした。そして、「いただきます」「めしあがれ」「ごちそうさま」「どういたしまして」と、食をはさんで家族の団らんがありました。

足を止めて考えてみてください。

●家族で話をしていますか?  
●食をサプリメントと思っていませんか?  
●食を経済価値だけで判断していませんか?

「いただきます」は  
誰に、何のために使った  
言葉でしよう？

昔は当たり前のように言っていた「いただきます」を、あなたは最近言っていますか。「いただきます」は感謝の言葉、料理をしてくれたお母さんへ、栽培をしてくれた農家の方へ、それから食べ物そのものに…。食べ物にはすべて命があります。「いただきます」とは自然の恵みである食べ物の命を「いただきます」という感謝の言葉もあります。



### みやざきブランド推進対策とは…

農業を取り巻く状況は、輸入農産物の急増など大きな変革期にあります。

みやざきブランド推進対策は、このような中で、生産者の皆さんのが安心して、将来に希望を持って農業に取り組むことのできる環境づくりのために、

- ①宮崎ならではの安全で品質の確かな特長ある商品づくり
  - ②「宮崎産なら安心」といわれるような信頼される産地づくり
  - ③取引先とのパートナーシップに基づく安定的な取引づくり
- を3つの柱に、生産者の皆さんと一体となって推進している対策です。

### みやざきブランド推進本部

[宮崎県・JA宮崎経済連]

<http://www.miayazakibrand.jp/>

CM情報 TBS系全国28局ネット「儲かりマンデー」で放映  
毎週日曜日 7:30~8:00 (平成16年10月~12月)

## 宮崎県下には

今でも二〇〇を超す集落で神楽が伝承されています。

それは、古くから天孫降臨の地としていくつもの神話伝説が残るこの地ならではの、全ての食べ物には神様が宿っている“という教えを今も忠実に受け継いでいる証です。

神楽や伝統文化は全て食と農に関係し、

命の恵みに感謝するところからはじまります。

今、食の乱れによる生活習慣病の増加や家族団らんの減少、孤食化の進展が問題視されています。

宮崎には、豊かな自然、温暖な気候、溢れる太陽のもと、

まじめで正直な生産者が

「食」と「農」を支える担い手としての責任を持ち、

人の命に代わる農畜産物の命を大切に育んでいます。

いたる所に命が溢れ、

命の感謝を忘れない農業県「宮崎」から



●タノノカシア(田の神様)  
農場のいたるところに神様が祭られている。

# なぜ、宮崎から…

※宮崎県えびの市の田園風景

「いただきます」を言う子は  
生活全体が良好

全国13都道府県5398人を対象に調査したところ、「いただきます」と食事の挨拶をする子とそうでない子を比較したところ、食生活や生活全体が全ての面で良好だった。  
(食生態学実践フォーラム調べ)

一位「いただきます」

(「富伝会議」調べ)

家族といいて一番楽しいときは  
一緒に食事をしているとき  
(住友林業調べ)

中学生へのアンケート  
家族そろって週に一度も食事をしない 22 %  
(日本家庭生活研究協会会調べ)

昔、近所のおじさんからもらった野菜が  
安全かなんて思ったことはなかった。  
安心・安全は信頼から。  
もつと身近な存在になりたい。・

農業県「宮崎」。

- 頭の見える取引により、食卓へお届けするまで、責任あるパートナー・シップを大切にします。
- 定期的に行われる農産物の国際化、農作物フェスタや農業体験など、私たちの命の源である食の重要性とそれを支える農業の大切さを積極的に情報発信し、「食」と「農」の距離を縮める食育活動を推進します。
- 地球環境を守るために、環境にやさしい資源循環型の農業を推進します。
- 安心して食べていただけるよう、適切な生産情報を提供に努めます。



だから、命に感謝する  
**農業県「宮崎」として・**

■ 情熱みやざき 産地取り組み宣言(2003.10.26)

● 生産活動の一つひとつに責任を持ち、食の安全確保を徹底します。

宮崎県では平成11年から、宮崎方式と呼ばれる2時間でわかる独自の残留農薬分析システムを導入。今まで食べた後にしかわからなかつた残留農薬を出荷する前に検査しています。だから自信を持ってお届けできるのです。

顔の見える農畜産物をお届けすることを心掛けている宮崎県では、毎日の生産活動の記帳運動等を通じて蓄積した生産に関する情報の公開にしっかりとお応えしていきます。